

# マイナンバーカードの申請を お手伝いします

12月15日(土) 午前9時～正午 市役所東庁舎 1階 市民課

マイナンバーカードを作りたくても時間がない、申請方法が分からないという人のために、写真撮影・申請書  
発送などを無料でお手伝いします。

※カードができるまでには1か月程度かかります。

## 申請の流れ

### ①本人確認(※1)

※1 本人確認書類(原本が必要です)

<b>A 1点</b> (官公署が発行した顔写真付のもの)	住民基本台帳カード(写真付き)、旅券、運転免許証、運転経歴証明書(交付年月日が平成24年4月1日以降のものに限る)、身体障害者手帳、療育手帳、在留カード、特別永住者証明書など
<b>B Aがない場合2点</b> 「氏名・生年月日」または「氏名・住所」が記載されているもの	健康保険証、年金証書、年金手帳、児童扶養手当証書、母子健康手帳、社員証、学生証、医療受給者証、福祉医療受給券、預金通帳、など

### ②写真撮影

持ち込み写真の使用を希望する場合は、縦4.5cm×横3.5cmの写真を用意してください。(6か月以内に撮影したもの。無帽・正面・無背景)

### ③申請書の記入

印鑑が必要です。



## 休日交付も実施します

すでにカードの申請をしていて、交付通知書兼照会書が届いている人が対象です。平日にカードを取りに来ることができない人は、ぜひご利用ください。

### ●交付時に必要な書類

- ①マイナンバー通知カード
- ②本人確認書類A1点またはB2点(※1)
- ③必要事項を記入した交付通知書兼照会書  
(紛失した場合は、②の本人確認書類とは別にAまたはBが1点必要)
- ④住民基本台帳カード(持っている人のみ)

市民課(東庁舎)

☎71・2323 ☎72・2460

10月26日金曜日に下田の村医院が突然閉院しました。市役所には閉院当日午後連絡があったため、相当に慌てました。なぜなら、下田学区が無医地区になってしまっているからです。市としては、最も近い医療施設である湖南労働衛生センターですべての医療需要を賄うことは難しいため、対応を検討する必要に迫られました。

とりわけ、民間医院ではあったものの、地域医療をなくすわけにはいかないので、とりあえず施設を買収して、国民健康保険直営診療施設として再開ができないかを探るとともに、内々に公立甲賀病院からの医師派遣が可能かとの検討と打診も始めていました。

11月5日の下田まちづくりセンターで開いた複合庁舎整備基本設計案市民説明会の席上では、このことについての質問が出たため、市として検討対応の



状況をお答えしたところです。しかし、同時に情報を得て、検討を進めていた医療法人社団美松会から、下田地先でクリニックを開業するという報告を受けたため、地域での診療体制が継続されることとなりました。

徒歩圏内で唯一の診療施設でしたので、このように高齢化のなかで地域医療が欠けると厳しい状況になってしまいます。

そこで、診療施設の地域における適切な役割分担が重要となりますが、市では、身近なかかりつけ医としての国民健康保険直営診療施設の医師確保も引き続き進めています。

また、来年4月1日からは、公立甲賀病院を地方独立行政法人化します。病院を取り巻く環境が目まぐるしく変わるなかで、経営の機動性を確保することが目的です。

これまでのように甲賀市と湖南市が設置者として責任を持ちながら、身近なかかりつけ医と連携して、急性期や重症化した患者の後方を担当します。

回復して退院すれば、地域でかかりつけ医のお世話になることとなります。そうした地域での医療連携で、安全と安心を確実にしていきます。

